

2019年度 サポートシステムあゆみ 放課後等デイサービス自己評価表

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制について	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用定員に対しては適切なスペースを確保している。利用人数が多い日は手狭に感じる事もあり、個室の活用・部屋を仕切る等の工夫が必要。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準以上に配置している。それでも活動の中で職員が足りない状況になった場合は事務所にいる職員がフォローする等している。
	3	事業所の設備等の安全について常に配慮しているか	○			毎日、終業時に安全確認を行っている。破損箇所等の危険があれば早急に修繕する等対応している。
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		会議等を通して挙げた課題に対して都度取り組んでいるが、時期や目標等の詳細な設定・振り返りはできていない。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケートのご意見を参考に保護者交流会を企画したが実施できなかった。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開し、希望者には書面で渡せるようにしている。
	7	第三者により外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後、検討必要。
	8	職員の資質の向上の為に、研修の機会を確保しているか	○			年間計画に沿って外部研修に参加している。また他の外部研修も随時職員に案内している。内部研修も実施したが、次年度はより計画的に行っていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者と話し合っって計画を作成しているが、より客観的なアセスメントに取り組んでいきたい。
	10	子どもの状況を把握する為に、アセスメントツールを使用しているか		○		より客観的なアセスメントツールの検討が必要。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			曜日毎に担当者を決め、チームで立案し、またフォローできるようにしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			色々な材料や器具等を使えるメニューを立案するようにしている。
	13	平時・長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			活動時間や時節に応じてプログラムを行っている。
14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			本人の課題や特性・趣向に応じて適宜集団活動・個別活動を組み合わせている。	

		項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点
適切な 支援の 提供	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員が揃わない時は計画に個人で目を通してもらい、補足で伝えている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援終了後は送迎に出るスタッフが多いのでまとまって振り返りはできない。個々に気付いた点をスタッフ間で話すようにして、また日誌や個別の記録で情報共有できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			客観的で丁寧な記録に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		一部の児童に対して、モニタリング時期が遅れてしまった。チェック表を用いて遅れないよう徹底していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		ガイドラインに則っているが、まだ全職員には周知できていない。
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者または当該児童と関わりの深い職員が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			随時学校と連絡を取っている。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		児童発達支援事業所を訪問し、情報共有を行った件はあるが、まだ件数は少ない。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		進路先から求められた場合はしっかり情報提供をしているが、積極的なアプローチはしていない。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	この1年間は助言や研修は受けていない。
	25	地域の人たちと関わっていける活動の機会があるか	○			ハロウィンプログラムや日々の戸外活動を通して、また法人の祭等の機会に地域の人たちと関わっている。
	26	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	○			奈良市障がい児通所支援連絡協議会に参加している。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通の理解を持っているか	○			利用前後の引継ぎ時に話したり、必要に応じて電話・メールでやり取りしたりして共通理解に努めている。
28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニングは行っていない。必要に応じて相談・助言をしている。	

		項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明し、参加費はお便り『わらいふ』で毎月提示している。
	30	保護者からの相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			できるだけ丁寧に相談に応じ、支援方法等を保護者と共に考え共有するようにしている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		初めて家族交流会を企画していたが、感染症流行の影響で来年度に延期となった。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応について体制を整えている。この1年間、苦情はなかった。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月『わらいふ』を発行し、ホームページにも掲載している。
	34	個人情報の取り扱いに際し、守秘義務を遵守しているか	○			守秘義務に関して職員に周知徹底している。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者・家族の状況に応じた情報伝達の方法を取っている。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○			あゆみ祭に多くの地域住民に参加して頂いている。
非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルはできておらず、事案の都度、対応協議している。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか		○		年間で避難訓練計画を立てているが、都合により時期がずれ込み、実施回数が予定より少なかった。
	39	虐待を防止する為、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		外部研修に参加したが、内部研修は行えていない。会議や職員面談を通して虐待防止の意識を持つようにしている。
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			緊急の場合に身体拘束を行う可能性のある児童に対して、保護者に説明し、支援計画にその旨を明記している。
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者から情報を頂き対応している。
42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット集を活用し、全職員が閲覧するようにしている。	